

虹のキャラヴァンサライ

あいち
トリエンナーレ
2016



あいちトリエンナーレ2016 シンポジウム

『旅と創造』

作家・詩人

池澤夏樹

Natsuki IKEZAWA

あいちトリエンナーレ2016 芸術監督

港千尋

Chihiro MINATO

2014年11月16日(日) 13:30-16:30

愛知芸術文化センター 12階アートスペースA

参加費 | 無料 (申込不要)

定員 | 180名

当日は開始時刻の30分前から受付を開始し、整理券を配布します。

なお、受付は先着順で行い、定員に達した場合は、入場をお断りすることがございます。

主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会

あいちトリエンナーレ2016 / Aichi Triennale 2016

芸術監督 | 港 千尋 会期 | 2016年夏から秋(予定)

テーマ | 虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅 /
Homo Faber : A Rainbow Caravan



AICHI
TRIENNALE
2016
Rainbow
caravan

人間の最も古い創作活動は、現生人類であるホモ・サピエンス・サピエンスの登場とほぼ同時期の三万五千年前に遡ると言われます。それは洞窟や岩陰に残された絵や手の痕跡ですが、似たような手の痕はユーラシア、オーストラリア、南米と世界中で発見されています。アフリカに生まれ地球上に拡散した人間は、旅をしながら創造してきたのです。

あいちトリエンナーレ2016へ向けたシンポジウムは池澤夏樹氏をお招きして、神話時代に遡る人間の原初的な創造のかたちに立ち戻り、言葉とイメージの冒険を考えたいと思います。ギリシャ、東京、沖縄、フランス、札幌と移動と移住を続けながら、常に新しい言葉を紡いできた作家がいま、どのような地平を歩き、何を見つめているのか—その思考と眼差しは来る国際芸術祭のテーマを掘り下げるわたしたちにとって、大きな刺激となることでしょう。

港 千尋

|プロフィール|



photo: © K.WASHIO

作家・詩人

池澤夏樹

Natsuki IKEZAWA

1945年北海道帯広市生まれ。作家、詩人、ギリシャ、東京、沖縄、フランス、札幌と移住し、世界的視野からの創作と評論活動を行う。88年『スティル・ライフ』で芥川賞、93年『マシマス・ギリの失脚』で谷崎潤一郎賞、94年『楽しい終末』で伊藤整文学賞、96年『ハワイ紀行』でJTB紀行文学大賞、2000年『花を運ぶ妹』で毎日出版文化賞、『すばらしい新世界』で芸術選奨文部科学大臣賞、04年『静かな大地』で親鸞賞、05年『パレオマニア』で桑原武夫学芸賞、11年個人編集の世界文学全集で朝日賞を受賞する。



港 千尋

Chihiro MINATO

1960年神奈川県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。2013年より国際交流基金国際展事業委員を務める。群衆や記憶など文明的テーマをもちつつ、研究、作品制作、展覧会、出版、キュレーション等、幅広い活動を続けている。著作『記憶—創造と想起の力』（講談社／96年）でサントリー学芸賞、展覧会「市民の色」で伊奈信男賞を受賞。2006年に釜山ビエンナーレ共同キュレーターを、2012年に台北ビエンナーレ共同キュレーターを務める。2007年にはヴェネツィアビエンナーレ国際美術展日本館のコミッショナーも務めた。

愛知芸術文化センター

名古屋市中区東桜1-13-2

|アクセス|

- 東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
- 名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分（オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由）

|問い合わせ先|

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局
〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター6階
TEL:052-971-6127 FAX:052-971-6115

<http://aichitriennale.jp/>

